平成２４年度「三豊工ものづくりセンター」実施計画書

観　点	地域産業の担い手育成
名　称 目　標 取組の概　要	(名称)　ものづくりを通した地域貢献と技術・技能の伝承
	(目標) １　三豊工ものづくりセンターの活用による積極的な地域貢献 ２　工業に関する学習内容に関連深い技能士の積極的な資格取得 ３　地域を担う子どもたちに対する将来の技術者育成
	(取組の概要) １　「人や社会に役立つものづくり」を掲げた「三豊工ものづくりセンター」は三豊観音寺地域におけるものづくり支援窓口であり、これまで、特別支援学校や老人福祉施設の要望に応えた装置を数多く製作し寄贈するなど、積極的に地域貢献に取り組んできた。この取り組みを継続させると共に、新たに地域農業の軽労働化機具の製作や町おこしを支援するための綿繰り機の改良、小中学校への教育支援機器の研究開発などに取り組む。 ２　本校卒業生の大半は、地元でものづくり産業を支えている。その人材育成で重要なことは、ものづくりに必要な創意や工夫、技術や技能の向上、知的財産権に絡む知識等を身に付けることである。その基礎となる国家検定等の取得を通して、自信を深めさせると共にキャリア意識の向上にも取り組む。 ３　将来の地域を担う子どもたちに対する科学技術や工業への興味･関心を高める取り組みを通して、地域産業を担っていく若者の意識を育む。
取組の詳　細	１　地域社会への貢献 ・内容：身体機能回復補助機器や農業軽労働化機具、綿繰り機の改良、小中学校の教育支援機器など、人や地域社会に役立つものづくりの取り組み ・実施時期：通年 ・ねらい：ものづくりが果たす役割の理解を深め、実際に人や地域社会に必要なものづくりの製作技術を向上させる。 ２　生徒の技術・技能の向上 ・内容：機械加工技能士、電気機器組立技能士、電子機器組立技能士の育成と知的財産教育の充実 ・実施時期：通年 ・ねらい：ものづくりの基礎となる技術や技能を向上させ、新しい開発や製作に必要な知的財産に関する知識を深化させる。 ３　将来の科学者や工業技術者の育成 ・内容：サイエンスフェスタイン三豊工２０１２、三豊工祭 ・実施時期：平成２４年１０月２８日（日） ・ねらい：将来の地域産業を支える子供たちに対して、工業高校特有のイベント等を通して、科学や工業技術への興味･関心を高めさせると共に、本校生徒の技術力の向上を図る。

平成２４年度「三豊工ものづくりセンター」報告書

名称	ものづくりを通した地域貢献と技術・技能の伝承
取組内容	○人や社会に役立つものづくり 「三豊工ものづくりセンター」は、三豊・観音寺地域におけるものづくり支援窓口である。今年度の主な取り組みは、次のとおりである。 ・焼き芋器（香川県園芸総合センター） ・バレーボール部用練習台３台（大野原中学校） ・旗振り応援装置（西部養護学校） ・玉入れ補助装置（西部養護学校） ・イルカをモチーフとした巨大イルミネーション（観音寺市） ・小型軽量な綿繰り機の試作（観音寺市） 焼き芋器 バレーボール練習台 旗振り応援装置 玉入れ補助装置 イルカのイルミネーション 綿繰り機 これらの作品は、全て年度内に地域からの要望に基づいて製作したものである。取り組んだ生徒たちは、製作過程で直面した多くの問題を創意工夫しながら解決していった。自分たちが製作した作品を喜んで使ってもらえたことで大きな達成感と責任を果たしたという安堵感を味わったことと思う。この取り組みは後輩へと引き継がれる。 ○技術・技能の向上 ものづくりの基礎となる技術・技能の向上を目指し、技能士の資格取得に取り組み、多くの合格者を出した。内訳は、２級機械加工技能士(普通旋盤)２名、２級電気機器組立（ｼｰｹﾝｽ制御）１名、３級の機械加工技能士８名（普通旋盤５名、ﾏｼﾆﾝｸﾞｾﾝﾀ作業３名）、仕上げ１名、機械保全３名、電子機器組立４名の計１９名が合格、３級機械加工技能士(機械検査)４名と電気機器組立（ｼｰｹﾝｽ制御）の２級１名、３級３名が受験し結果待ちである。また、代表者１名が旋盤加工部門における高校生ものづくりコンテスト四国大会に挑戦した。 一方、知的財産教育では、１年生全員に発想訓練を取り入れた基礎的内容を、進学コース３年生には知的財産教育の学びをものづくりに発揮させた。また、全校生徒に四国学院大学教授田尾和俊先生より「発想力を高める道具」というテーマで講演をいただいた。その他、弁理士の指導も仰ぎながら生徒の作品を発明くふう展（２点が県で入賞し、全国大会に出展）やパテントコンテスト、高校生技術・アイディアコンテスト（理事長特別賞、佳作入選）に応募した。